

# 11月の月間目標

## いのちをたいせつにしよう!

～身近な動物や植物に関わる機会をつくり、いのちについて親子で考えましょう～

私たちの身の周りには、いろいろな生き物がいて、子どもたちは、普段からそれらに親しんでいます。しかし、どのくらいその命の重さを感じているでしょうか。現代の子どもたちは、昔と違い、家族や身近な人の生死に関わる機会が少なくなり、ゲームなどの影響で虚構の死に慣れて、命の重さを感じにくくなっているといわれます。

家庭で動植物を大切に育てたり、家族で自然の中で遊んだりして、命の大切さを実感できる機会をつくり、親子で命について考えてみましょう。(参考：家庭教育手帳 文部科学省)



### 動物の世話を してみよう!

動物が成長していく様子や、命をつないでいく様子に接する機会をつくりましょう。



### 親子で食事を 作ってみよう!

食事作りを通し、命をいただいていること、命がつながることについて話しましょう。



## いのちを

## 感じてみよう!



### 草花や野菜などを 育ててみよう!

植物の成長を通して、いろいろな命について考えてみましょう。



### 自然の中で のびのびと遊ぼう!

自然の営みや生き物の命を感じてみましょう。



### 『いのちのまつり』

(サンマーク出版)

「ぼくのご先祖さまって何人いるの?」命がつながっていることを感じられる楽しい絵本です。



命を大切にするという意識を育むためには、まず何よりも子どもが「自分は愛されている、大切にされている」という実感をもつことが必要です。親が子どもの存在をまると肯定的に受け止め、子どもの親に対する信頼感を育みましょう。そうすることで、子どもは自己肯定感を育み、自分を大切に思うと同時に、他者を大切にすることを培っていきます。



毎月第3日曜日は「家庭教育・家庭の日

(いきいきサンデー)」です

奈良県立教育研究所



(令和元年11月)

家庭教育Web ページ